

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価

※目標に対する実施内容の達成状況を「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」の指標により自己評価

第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)			
区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標(事業内容、指標等)	実施内容	自己評価結果	課題の解決に向けた質の評価	課題と対応策
自立支援・介護予防・重度化防止	<p>〈現状と課題〉 ○健康寿命を延ばすために、元気なうちからの健康づくりや介護予防の取組みを進める必要がある。 ○転倒による骨折が原因で要介護状態になるケースが多くみられる。 ○介護予防意識を向上させる取組みが必要である。</p> <p>〈施策を設定した趣旨〉 介護予防教室等の実施により、介護予防への関心を強め、取り組むきっかけを充実させるとともに、継続的に運動等の活動が行える場の拡充を図る。</p>	地域における介護予防活動の推進	各地域包括支援センター・市による介護予防教室の開催 各年度200回以上開催	各地域包括支援センター・市による介護予防教室の開催 平成30年度221回開催	自己評価結果【○】 活動継続に重きを置き、教室終了後に参加者の自主活動へとつなげる自立型介護予防教室を新たに実施した。	目標の開催回数が実施されたことを確認、数値目標を達成した。 より効果的に実施するために、介護予防活動が行える教室と合わせて、教室後に活動を継続できる体制を構築する必要がある。	<p>〈課題〉 介護予防活動が行える教室と合わせて、教室後に活動を継続できる体制を構築する必要がある。</p> <p>〈対応策〉 事業実施を通じて得た知見を活かし、自立型介護予防教室の引き続きの実施等により市民の介護予防活動の継続を促進する。</p>
自立支援・介護予防・重度化防止	<p>〈現状と課題〉 ○医療、介護、住まい、介護予防、生活支援のサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムを構築する必要がある。 ○地域ケア会議における保健、医療及び福祉が連携したケース検討の深化、多職種・多機関での対応、地域生活課題の抽出と政策提言の機能が十分ではない。</p> <p>〈施策を設定した趣旨〉 個別の支援内容を多職種で検討する個別ケア会議の開催や、自立支援に資する適切なケアプランになっているか点検を行い、ケアマネジメントの質の向上を図る。</p>	ケアマネジメントの質の向上	個別ケア会議の開催(随時)	個別ケア会議の開催(随時) 平成30年度 各地域包括支援センターにより、26回の開催	自己評価結果【○】 各地域包括支援センターにより、26回の個別ケア会議を実施した。	各地域包括支援センターにより、必要に応じた個別ケア会議の開催ができています。 効果的な制度とするために、会議参加者の幅を広げ、より多角的に検討ができる制度とする必要がある。また、運営ノウハウを積むためにも定期開催等により実績を増やす必要がある。	<p>〈課題〉 会議参加者の幅を広げ、より多角的に検討ができる制度とする必要がある。また、運営ノウハウを積むためにも定期開催等により実績を増やす必要がある。</p> <p>〈対応策〉 個別ケア介護の機能、効果を高めるために、目的別に個別ケア会議を開催し、開催手法や参加者の見直しを行う。</p>
自立支援・介護予防・重度化防止	<p>〈現状と課題〉 ○医療、介護、住まい、介護予防、生活支援のサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムを構築する必要がある。 ○地域ケア会議における保健、医療及び福祉が連携したケース検討の深化、多職種・多機関での対応、地域生活課題の抽出と政策提言の機能が十分ではない。</p> <p>〈施策を設定した趣旨〉 個別ケア会議等から抽出した地域生活課題への対策を検討し、自立支援に資する生活支援を創出する。</p>	地域ケア会議(地域生活課題検討会議)・生活支援体制整備協議体の開催	地域生活課題検討会議・生活支援体制整備協議体の開催 各年度3回開催	地域生活課題検討会議・生活支援体制整備協議体 平成30年度に3回開催	自己評価結果【◎】 平成30年度に3回の会議を開催し、地域の見守り体制の強化について多職種で意見交換を行った。 また、同時開催する生活支援体制整備協議体では、地域の生活課題として買い物支援について協議し、具体的な対策として巡回販売業者の調整や買い物支援マップの作成に取組んだ。	目標の開催回数が実施されたことを確認、数値目標を達成した。 効果的な制度とするために、意見交換や課題の共有をもとに、具体的取組へと繋げる必要がある。	<p>〈課題〉 意見交換や課題の共有をもとに、具体的取組へと繋げる必要がある。</p> <p>〈対応策〉 引き続き、地域の見守り体制の強化等について意見交換を進め、具体的な取組へと繋げる。</p>